



第18回高校生理学研究発表会に参加しました！

2024年9月28日、千葉大学工学部西千葉キャンパスにて第18回高校生理学研究発表会が開催され、PrincipiaⅡの3チームがポスター発表を行いました。どのチームも熱心に口頭発表を行い、2年4組湯浅さんと2年5組杉山さんの「天神島のプランクトン相の周年変化」が先進科学センター長賞を受賞しました。以下、発表メンバーと探究内容です。

【探究内容】

「天神島のプランクトン相の周年変化」

2年湯浅 実華さん、杉山 佳織さん

「Consideration of shock absorbers on the Mars satellite Phobos」

2年 江澤 陽樹さん、高田 海星さん、田外 智也さん、内藤 雄大さん、Tommaso Tarantino さん

「人工衛星から見られる植生の変化」

2年近藤 俊太さん、芹澤 春希さん、田中 愛望さん、中里見 奏太さん、米田 朝陽さん

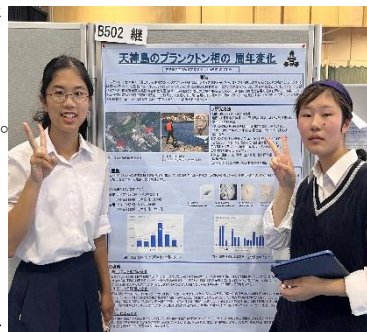
「天神島のプランクトン相の周年変化」

自分たちでも驚きと興奮であつと言う間の日でしたが、これまでの研究の成果と努力を精一杯伝えきったことで熱意が伝わり、今回賞をいただけたのではないかと思います。本当にうれしく思います。全国からさまざまな研究が集まり、高レベルな発表が行われる中、審査員や実行委員の先生から自分たちの研究の欠点を沢山指摘していただくことで現状に満足せず、新しい視点や改善点を見出すことができ自分たちの成長につながったと思います。自分たちの研究をもう一度見直すことの重要性を再確認できとてもいい機会となりました。これからも様々な学会に参加し、もっといい研究にしていきたいです。

2年4組 湯浅実華

今回高校生理学研究発表会は関東に限らず、岩手県や兵庫県などの全国の高校生が参加する研究発表会でした。私たちは、今回で5回目となるポスター発表であり、場慣れしていたため発表だけでなく質疑応答に対してもスムーズに行うことができました。たくさん発表の場を経験することが大切であると実感しました。前回のポスター発表でもらったアドバイスをもとに、たくさんの試行錯誤をしたポスターが評価をされたことは私たちにとってとても喜ばしいことでした。発表当日も、たくさんの審査員の方々にご指摘いただき、有意義な時間を過ごすことができました。今回、色々な方々からいただいた意見をもとに、研究内容をより良いものにしていきたいと思ひます。

2年5組 杉山佳織



「Consideration of shock absorbers on the Mars satellite Phobos」

今回参加した高校生理学研究発表会では、探究活動において、設定した課題を達成する為のアプローチ方法を他者の研究から学び、そして、自分達の班が行った探究活動に関する評価できる点と改善すべき点がどこにあるの



かについて審査員の方々や他の参加者から意見を頂くことができました。私たちの発表では、発表をしながら考え、頂いた意見を現在の principiaⅡでの研究に落とし込むことを目的としました。他の発表者のポスターを見た時私たちの研究には、実験をするのに十分な論理的仮説がなかったこと、そして第一にデータ数の不足が問題であると感じました。なので、今後の探究活動では、実験を行う日程などの作業工程をスケジュール化することで効率的かつ進行状況を可視化し、これらの問題を解決していこうと感じました。今回の発表を通して、課題に対する理解を深め、仮説を立てる十分な時間を確保しなければならないということを学びました。

2年2組 江澤陽樹

「人工衛星から見られる植生の変化」

僕たちの班は、人工衛星から得られるデータを元に地球上の植生について考える研究をしています。初めてこのような大規模な研究発表会に参加し、たくさんの方々のことを吸収したいという気持ちで参加することができました。審査員の方々からの質問は高度なもので、わたしたちにはなかった視点や考え方を発見することが出来ましたし、同い年の高校生の発表を聞くことで、大きな刺激にもなりました。このような気づきや刺激は、大きな研究発表会に参加したからこそ得られるものであると思うし、自分たちの研究をもっともっとよりよくしていくために、このような発表会にこれからもより一層積極的に参加していきたいと思ひます。

2年2組 近藤俊太

